

「(仮) 飯山ぷらざ」建設に関する報告書

平成24年1月19日

「(仮) 飯山ぷらざ」建設検討委員会

はじめに

昭和37年、飯山市の歴史的シンボルである城址公園内に建設された飯山市民会館は、今日まで49年間、音楽や演劇をはじめとする芸術・文化振興の拠点施設として、子どもからお年寄りまで、多くの市民に親しまれ利用されてきました。

この間、2度の大規模改修を行うなど、利用者ニーズに応じた施設の維持や運営を続けてきましたが、長期間の使用による老朽化は年々深刻化してきました。

平成8年に実施した耐震診断調査では、安全値を大きく下回り「至急補強する必要がある」という判定結果を得て、その対策として「構造上の問題などから耐震補強工事は実質的に不可能であり、施設の改築が必要」と評価されました。

このような経過から、市内にある既存施設による代替や改修による費用対効果を検討する中で、芸術・文化の振興や市民サービスなどの観点に加え、平成26年度に迫った北陸新幹線飯山駅開業を契機とした魅力あるまちづくりの創出のために、現市民会館に代わる「(仮)飯山ぷらざ」を新たな場所に建設することになりました。

「(仮)飯山ぷらざ」建設検討委員会は、平成23年5月に飯山市長から委嘱された関係する専門分野の委員により、現在の市民会館がもつ芸術・文化的機能とともに、魅力的でにぎわいのある市民活動の場を提供することを目的に、これまで計7回にわたり検討を重ねてまいりました。

委員会では、平成23年10月24日に骨子となる中間報告書を飯山市長へ提出し、飯山市ではその報告書をもとに市民説明会が開催され、12月26日には飯山市長から建設場所など一定の方針が表明されました。これらの経過を踏まえ、この度「(仮)飯山ぷらざ」の持つべき機能や役割など、建設に関する最終報告書をまとめました。

飯山市におかれましては、この報告書を題材に、引き続き多くの市民からの声を聞くとともに、計画決定の際の根幹となる指針として活用され、一層の検討を深めていただくことを望み、報告書を提出いたします。

「(仮)飯山ぷらざ」建設検討委員会

～ 目 次 ～

I 「(仮) 飯山ぷらざ」が目指すもの	・・・p1
1、位置づけと役割	
2、市民の資産	
3、市民の積極的な参画	
II 「(仮) 飯山ぷらざ」の基本コンセプトとデザイン	・・・p2～3
1、基本コンセプト	
2、デザイン	
III 「(仮) 飯山ぷらざ」の機能	・・・p4～5
1、芸術・文化機能	
(1) ホール施設	
(2) 付属施設	
2、交流・にぎわい機能	
(1) 屋内機能	
(2) 屋外機能	
(3) 行政機能	
(4) その他機能	
IV まちづくりにおける「(仮) 飯山ぷらざ」	・・・p6～8
1、建設場所	
(1) 建設場所の検討	
IV-1 建設候補地の位置、IV-2 建設候補地の比較検討及び評価	
(2) 建設場所の評価	
(3) 飯山市からの建設場所表明後の対応	
2、施設の運営管理の考え方	
(1) 施設の運営管理	
(2) 運営管理の手法	
(3) 運営・維持管理費	
V その他	・・・p9
参考資料	
①飯山市民会館の現況	
②市民アンケートによる意見（まとめ）	
③市民説明会における意見・要望（まとめ）	